

II 教育目標

現代社会が高度化・複雑化し、国際化・情報化が急速に進み、変化のスピードが増して流動化が激しくなっている今日、このような時代を積極的に生き、社会の要請に適切に対応し得る知的能力と意欲を備えた人材を養成する大学の責務は、ますます増大しています。

本学は、高度な専門性に裏付けられた高い能力と、総合的かつ自主的な判断力に支えられた豊かな人間性を有し、現代社会が直面する諸問題に主体的に立ち向かい得る探究心と創造性にあふれた、心身ともに健康な人材を育てることを目標としています。

本学は、この目標の実現に向けて全学的な研究と教育の一体化を図り、さらに次の諸点に力点を置いています。

(1) 四年一貫の系統的なカリキュラムの編成

全学教育、学部教育は、それぞれの教育理念と目的に従って、系統的な四年一貫教育（医学部医学科は六年一貫教育。）を全学的協力のもとに実施する。

(2) 総合的な判断力の養成

個別的授業科目の羅列ではなく、学際的視野や相互関連的知識を与え、現代社会が直面する基本的な課題群に総合的に対処し得る能力を養成する。

(3) 学生の主体性と学ぶ意欲の尊重

学生が自ら選んだ専攻に関連する科目を主体的に履修できるよう、科目の適正な学年配分を行うとともに、他学部が開講する科目や全学的に開講される科目を履修できる途を開く。

(4) 国際化への対応

基礎教育としての外国語教育を強化するとともに、外国語を通じて異文化理解を深め、21世紀の国際社会に即応できる人材を養成する。

教養教育院では、次の教育目標を掲げ、実現するための教育課程を編成しています。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ①総合的な判断力と思考力を培う | 文系・理系・全学教養科目など |
| ②学生の主体性と、学ぶ意欲を育む | 基礎セミナー，開放科目など |
| ③人間性を育むコミュニケーション能力を培う | 健康・スポーツ科学，言語文化科目 |
| ④学部間に共通の基礎的学力を培い，探究心を養う | 文系・理系基礎科目など |